

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2019/11/27 ~ 2020/02/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190587060501	科目番号 / Course code	05870605
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15541_005		
授業科目名 / Course title	社会と文化の多様性 (宗教から見たアジア) / Understanding Asia Through Religion		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	伍 嘉誠, 正本 忍 / Masamoto Shinobu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	伍 嘉誠		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	伍 嘉誠		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ngkashing_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟5階助教室		
担当教員TEL/Tel	ngkashing_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金2 (要事前連絡)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	アジアでは歴史上、様々な宗教が実践されてきた。特に、同地域では、グローバル化による社会変容に伴い、顕著に宗教の移動、越境、相互作用、創生が活発化しており、宗教実践のあり方も多様化・多角化している。本講義では、「宗教」を鍵概念として、日本、韓国、中国および香港、台湾等の具体的な事例を用いながら、アジア社会における宗教文化を理解することを目的とする。宗教社会学の基本的な考え方、研究対象、研究手法も取り上げる。		
授業到達目標/Course goals	本授業アジア社会において実践されてきた様々な宗教について理解することを目標とする。様々な事例を学ぶことによって、アジアにおける宗教の多様性について広範な視点から比較し、考察できるようになる (?@?G?J)。また、宗教と社会との関係について説明できるようになる (?D)。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	内容理解確認小テスト (2点×15回=30点) 小レポート (20%) 最終レポート (50%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	講義の内容をしっかりと把握するため、予習と復習を重視する。		
キーワード/Keywords	宗教、社会、文化		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は指定しない。参考書については講義中適宜指示する。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	「宗教」は、ある社会の歴史・文化・制度・政治の変動を理解する重要なカギです。アジア社会で様々に実践される宗教文化について一緒に考えましょう。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
	なぜ宗教を学ぶのか？
	宗教文化の諸相? 「薄い宗教」と「濃い宗教」
	日本?@?日本人は「無宗教」なのか？
	日本?A?意識調査からみた日本人の宗教観
	中国大陸?@?共産党政権下における宗教
	中国大陸?A?宗教の「三色市場」
	台湾?@?「土地公」信仰
	台湾?A?尼僧と女性の仏教実践
	香港?@?宗教と社会福祉
	香港?A?キリスト教と「雨傘運動」
	韓国?@?伝統社会と宗教
	韓国?A?キリスト教と民主化運動
	越境する宗教文化
	「しあわせ」の宗教学ー現代社会における宗教とウェルビーイング
	まとめ

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2019/11/22		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190587060701	科目番号 / Course code	05870607
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15551_005		
授業科目名 / Course title	社会と文化の多様性 (世界のことばの多様性) / The World's Linguistic Diversity		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	TOET RUDY, 正本 忍 / Masamoto Shinobu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	TOET RUDY		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	TOET RUDY		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	rudytoet nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟5階助教室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の直後またはメールにて質問を受け付ける。メールによりアポイントメントを取ることもできる。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	音声学・音韻論(発音)、形態論・統語論(文法)、語用論・社会言語学の各観点から、世界の各言語に見られる様々な表現の仕方について考察する。日本語や英語の比較的身近な言語から聞いたことすらない言語まで幅広く見ていき、ヒトを特徴づける「ことば」というものの多様性に驚きながら、その表面の下にある人間の普遍性を示唆する側面も探る。また、他言語に見られる特徴が、日本共通語・標準語には見られないが、長崎方言(九州方言)には見られるなどのようなケースを通じて、世界のことばの多様性のみならず日本のことばの多様性についても理解を深め、地元のことばを考える機会ともする。学生の英語などの外国語学習に対する刺激になることも狙いの一つである。		
授業到達目標/Course goals	1. 世界の各言語のどの側面がどのように異なり得るか、そしてどのような普遍的な側面があるかを理解し、説明できるようになる(??G?J)。 2. 自分の使うことば・地元のことばの特徴を把握し、世界のことばの多様性の中に位置づけることができるようになる(??G?J)。 3. 英語などの外国語学習において取り組むべき要素を新たに見付け、その方法を考えることができるようになる(?A?I)。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above 授業で得た知識を活用して、外国語学習において取り組むべき要素を主体的に確認する活動 F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み?30点 内容理解確認小テスト(平均点数)?20点 提出課題(平均点数)?20点 定期試験?30点 合計100点の内60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	定期的に授業の内容に対する学生の理解を確認するための小テストを実施する。また、数回、異なる言語のある特徴を比較する小レポートの提出を求める。定期試験も実施する。		
キーワード/Keywords	世界の各言語の音声学・音韻論・形態論・統語論・語用論・社会言語学、長崎県・九州地方の方言		
教科書・教材・参考書/Materials	教科書は指定しない。授業で適宜に資料を配布する。		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	特になし
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1?2回（10月4日3?4時限）	オリエンテーションに加えて世界の各言語について概説する。
第3?4回（10月11日3?4時限）	音声学の観点から世界のことばの多様性を考察する。
第5?6回（10月18日3?4時限）	音韻論の観点から世界のことばの多様性を考察する。
第7?8回（10月25日3?4時限）	形態論の観点から世界のことばの多様性を考察する。
第9?10回（11月1日3?4時限）	統語論の観点から世界のことばの多様性を考察する。
第11?12回（11月8日3?4時限）	語用論の観点から世界のことばの多様性を考察する。
第13?14回（11月15日3?4時限）	社会言語学の観点から世界のことばの多様性を考察する。
第15回（11月22日3時限）	第14回まで扱った内容をまとめる。
第16回（11月22日4時限）	定期試験を実施する。

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/06/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190587507701	科目番号 / Course code	05875077
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 15731_005		
授業科目名 / Course title	社会と文化の多様性 (世界の中のヨーロッパ) / European Studies		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	正本 忍 / Masamoto Shinobu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	正本 忍 / Masamoto Shinobu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	正本 忍 / Masamoto Shinobu		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	教育・経済・薬学・水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	masamoto nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教員室 総合教育研究棟12階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2928		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日13:00-14:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ヨーロッパの文化と文明の影響力は今なお大きい。本講義では第一に、ヨーロッパ文化の基層について基礎的な知識を得る。第二に、ヨーロッパ文明が世界にもたらした影響を環境面において検討する。		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1 ヨーロッパの文化的環境の基層について説明できる (?A??H, ?N)。 2 ヨーロッパがどのように独自の文化を形成し、それを変容させたかを説明できる (?@??H, ?N)。 3 西欧および南欧の文化の多様性とその歴史的背景について説明できる (?A??J, ?N)。 4 ヨーロッパの文化と文明が世界にもたらした影響を環境面において理解し、ヨーロッパを含む世界の今後を展望することができる (?H??N)。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験 (60%) では到達目標 1?4 の到達程度を確認する。定期試験では「汎用的能力」および「多様性の理解」もみるために、論述問題も出される (60点中30点)。また、同じく「汎用的能力」および「多様性の理解」を確認するために、小レポートを課す (20%)。15回目の講義の全体討論で、「主体性」を確認する (20%)。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<ul style="list-style-type: none"> ・事前にLAGSにあげられた講義ノートには、あらかじめ目を通しておくこと。 ・講義で取り上げられたテーマが現代のどのような問題や現象に繋がっているかを常に考えておくこと。 ・参考文献を附属図書館等で手に取ってみること (もちろん、読むことが望ましい)。 		
キーワード/Keywords	ヨーロッパ、文化、文明、環境、歴史		

教科書・教材・参考書/Materials	K・ボミアン『増補 ヨーロッパとは何か？分裂と統合の1500年?』松村剛訳、平凡社（平凡社ライブラリー）、2002年。諸川春樹監修『西洋絵画の主題物語？神話編』美術出版社、1997年。諸川春樹監修『西洋絵画の主題物語？聖書編』美術出版社、1997年。D. A. マッケンジー『ゲルマン神話』東浦義夫・竹村恵都子訳、大修館書店、1997年。三輪福松『西洋美術の主題と物語？ギリシア神話と聖書から?』朝日新聞社、1996年。西村賀子『ギリシア神話？神々と英雄に出会う?』中央公論新社（中公新書）、2005年。荒又美陽『パリ神話と都市景観??マレ保全地区における浄化と排除の論理』明石書店、2011年。アリック・G. ハーグリーヴス『現代フランス??移民からみた世界』石井伸一訳、明石書店、1997年。ほか
受講要件（履修条件）/Prerequisites	講義中に不必要な私語をしないこと。また、食事をしないこと。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	講義で話された内容が現実の世界にどのように反映されているか、関わっているかを考えながら、受講して下さい。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ヨーロッパ文化の基層 1 : ケルト神話・北欧神話
第2回	ヨーロッパ文化の基層 2 : ギリシャ・ローマ神話?@
第3回	ヨーロッパ文化の基層 3 : ギリシャ・ローマ神話?A
第4回	ヨーロッパ文化の基層 4 : 絵画で見るギリシャ・ローマ神話
第5回	ヨーロッパ文化の基層 5 : ユダヤ教・ユダヤ人
第6回	ヨーロッパ文化の基層 6 : キリスト教?@
第7回	ヨーロッパ文化の基層 7 : キリスト教?A
第8回	ヨーロッパ文化の基層 8 : 絵画で見るキリスト教
第9回	映画『ソイレント・グリーン』を読み込む?@
第10回	映画『ソイレント・グリーン』を読み込む?A
第11回	人と森のヨーロッパ史
第12回	ヨーロッパの拡大と環境破壊
第13回	都市の台頭と環境問題
第14回	近世パリの生活環境
第15回	総括・全員での議論